



# 平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月7日

上場会社名 株式会社 山口フィナンシャルグループ  
コード番号 8418 URL <http://www.ymfg.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 吉村 猛

問合せ先責任者 (役職名) 総合企画部主計室長

(氏名) 京原 健

TEL 083-223-5511

四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日

特定取引勘定設置の有無 有

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	122,248	2.6	39,363	6.4	27,070	7.9
29年3月期第3四半期	125,532	3.0	36,992	2.6	25,099	0.6

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 46,494百万円 (58.8%) 29年3月期第3四半期 29,285百万円 (67.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	109.94	91.37
29年3月期第3四半期	102.32	84.71

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	10,176,929	659,650	6.4
29年3月期	10,225,781	617,052	6.0

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 653,319百万円 29年3月期 611,143百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計 - 期末新株予約権 - 期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。  
なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		10.00		8.00	18.00
30年3月期		10.00			
30年3月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	155,000	5.3	48,000	2.6	32,500	2.9	131.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	264,353,616 株	29年3月期	264,353,616 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	17,968,051 株	29年3月期	18,553,788 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	246,232,965 株	29年3月期3Q	245,305,666 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・四半期決算補足説明資料は、四半期決算短信に「平成30年3月期第3四半期決算短信説明資料」として添付しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
3. 平成30年3月期 第3四半期決算短信 説明資料	P. 8 ～ 17

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期の連結経営成績につきましては、経常収益は国債等債券売却益、株式等売却益等の減少を主因に、前年同期比 32 億 84 百万円減少して 1,222 億 48 百万円となりました。一方、経常費用は営業経費の減少を主因に、前年同期比 56 億 56 百万円減少して 828 億 84 百万円となりました。

この結果、経常利益は前年同期比 23 億 71 百万円増加して 393 億 63 百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比 19 億 71 百万円増加して 270 億 70 百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における総資産は、前連結会計年度末比 488 億円減少して 10 兆 1,769 億円となり、純資産は利益剰余金の増加を主因に、前連結会計年度末比 426 億円増加して 6,596 億円となりました。

主要な勘定の残高につきましては、預金及び譲渡性預金は前連結会計年度末比 840 億円減少して 9 兆 1,457 億円、貸出金は前連結会計年度末比 3,053 億円増加して 7 兆 566 億円、有価証券は前連結会計年度末比 1,592 億円減少して 1 兆 7,410 億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成 29 年 5 月 12 日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	960,386	768,639
コールローン及び買入手形	278,731	179,746
買入金銭債権	8,881	9,493
特定取引資産	2,799	2,196
金銭の信託	46,952	40,843
有価証券	1,900,270	1,741,094
貸出金	6,751,377	7,056,615
外国為替	16,052	26,818
リース債権及びリース投資資産	14,285	15,916
その他資産	125,830	207,995
有形固定資産	91,501	94,520
無形固定資産	8,728	10,539
退職給付に係る資産	29,596	31,267
繰延税金資産	1,711	1,101
支払承諾見返	43,067	42,144
貸倒引当金	△54,393	△52,003
資産の部合計	10,225,781	10,176,929
<b>負債の部</b>		
預金	8,453,837	8,584,077
譲渡性預金	775,958	561,635
コールマネー及び売渡手形	82,666	54,625
債券貸借取引受入担保金	32,860	58,497
特定取引負債	2,173	1,300
借入金	31,395	30,914
外国為替	475	76
新株予約権付社債	67,314	67,800
その他負債	91,108	79,578
賞与引当金	3,153	1,702
退職給付に係る負債	1,878	1,766
役員退職慰労引当金	259	271
利息返還損失引当金	14	19
睡眠預金払戻損失引当金	1,541	1,191
ポイント引当金	77	77
役員株式給付引当金	108	226
特別法上の引当金	23	24
繰延税金負債	9,942	20,473
再評価に係る繰延税金負債	10,871	10,871
支払承諾	43,067	42,144
負債の部合計	9,608,729	9,517,278

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	60,765	60,907
利益剰余金	442,258	464,868
自己株式	△22,702	△22,247
株主資本合計	530,322	553,529
その他有価証券評価差額金	55,524	73,817
繰延ヘッジ損益	△216	△101
土地再評価差額金	24,532	24,532
退職給付に係る調整累計額	980	1,540
その他の包括利益累計額合計	80,821	99,790
新株予約権	512	427
非支配株主持分	5,396	5,903
純資産の部合計	617,052	659,650
負債及び純資産の部合計	10,225,781	10,176,929

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
経常収益	125,532	122,248
資金運用収益	73,830	75,507
(うち貸出金利息)	55,571	55,884
(うち有価証券利息配当金)	17,533	18,796
役務取引等収益	18,410	20,808
特定取引収益	1,688	2,469
その他業務収益	16,469	12,702
その他経常収益	15,134	10,760
経常費用	88,540	82,884
資金調達費用	5,710	5,900
(うち預金利息)	3,827	3,601
役務取引等費用	6,243	6,627
その他業務費用	13,253	12,807
営業経費	59,825	54,121
その他経常費用	3,507	3,427
経常利益	36,992	39,363
特別利益	198	666
固定資産処分益	198	0
移転補償金	-	289
退職給付信託返還益	-	376
特別損失	112	237
固定資産処分損	93	26
減損損失	14	210
金融商品取引責任準備金繰入額	3	0
税金等調整前四半期純利益	37,078	39,792
法人税、住民税及び事業税	8,185	9,806
法人税等調整額	3,635	2,469
法人税等合計	11,820	12,276
四半期純利益	25,257	27,515
非支配株主に帰属する四半期純利益	158	445
親会社株主に帰属する四半期純利益	25,099	27,070

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	25,257	27,515
その他の包括利益	4,027	18,979
その他有価証券評価差額金	3,106	18,303
繰延ヘッジ損益	71	115
退職給付に係る調整額	849	560
四半期包括利益	29,285	46,494
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	29,115	46,039
非支配株主に係る四半期包括利益	170	455



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## 平成30年3月期 第3四半期決算短信 説明資料

## 【 目 次 】

1. 損益の状況		
(1) 山口フィナンシャルグループ【連結】	----	9頁
(2) 3行合算【単体】	----	10頁
(3) 単体		
①山口銀行	----	11頁
②もみじ銀行	----	12頁
③北九州銀行	----	13頁
2. 金融再生法ベースの категорияによる開示	----	14頁
3. 時価のある有価証券の評価差額	----	15頁
4. 預金・貸出金等の状況		
(1) 預金・譲渡性預金の残高	----	16頁
(2) 個人預り資産の残高	----	16頁
(3) 貸出金の残高	----	17頁
5. 自己資本比率	----	17頁

※本資料は単位未満を切り捨てて表示しております。

## 1. 損益の状況

## (1) 山口フィナンシャルグループ【連結】

- 山口フィナンシャルグループの連結決算につきましては、経常収益は株式等売却益、国債等債券売却益等の減少を主因に、前年同期比32億84百万円減少して1,222億48百万円となりました。
- 経常利益は、資金利益や役員取引等利益の増加により前年同期比23億71百万円増加して393億63百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比19億71百万円増加して270億70百万円となりました。
- コア業務純益は、資金利益や役員取引等利益の増加等により、前年同期比96億47百万円増加して306億61百万円となりました。

	(単位：百万円)		(単位：百万円)	
	平成30年3月期 第3四半期 (9カ月)	前年同期比	平成29年3月期 第3四半期 (9カ月)	平成29年3月期 (参考) (年間)
連結経常収益	122,248	△ 3,284	125,532	163,590
連結業務粗利益	86,167	957	85,210	111,716
資金利益	69,620	1,482	68,138	88,713
役員取引等利益	14,181	2,014	12,167	17,018
特定取引利益	2,469	781	1,688	2,359
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	△ 105 (2,668)	△ 3,320 (△ 3,213)	3,215 (5,881)	3,624 (7,626)
経費(除く臨時処理分)(△)	52,837	△ 5,477	58,314	75,731
連結業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	33,329	6,433	26,896	35,984
連結コア業務純益	30,661	9,647	21,014	28,358
一般貸倒引当金繰入額(△) ①	-	-	-	-
連結業務純益	33,329	6,433	26,896	35,984
臨時損益	6,048	△ 4,067	10,115	10,831
うち株式等関係損益	7,767	△ 2,059	9,826	10,756
うち不良債権処理額(△) ②	181	7	174	211
うち貸倒引当金戻入益 ③	682	△ 2,127	2,809	2,013
うち償却債権取立益 ④	20	△ 28	48	56
経常利益	39,363	2,371	36,992	46,790
特別損益	428	342	86	8
税金等調整前四半期(当期)純利益	39,792	2,714	37,078	46,799
法人税等合計(△)	12,276	456	11,820	14,993
四半期(当期)純利益	27,515	2,258	25,257	31,805
非支配株主に帰属する四半期(当期)純利益(△)	445	287	158	218
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	27,070	1,971	25,099	31,586
与信関係費用(①+②-③-④)(△)	△ 522	2,161	△ 2,683	△ 1,858

(注) 1. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 連結業務粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用) + (役員取引等収益 - 役員取引等費用 + 信託報酬) + (特定取引収益 - 特定取引費用) + (その他業務収益 - その他業務費用)
3. 連結業務純益(一般貸倒引当金繰入前) = 連結業務粗利益 - 経費(除く臨時処理分)
4. 連結コア業務純益 = 連結業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益
5. 連結業務純益 = 連結業務粗利益 - 経費(除く臨時処理分) - 一般貸倒引当金繰入額
6. 法人税等合計 = 法人税、住民税及び事業税 + 法人税等調整額

(ご参考)

連結子会社数	16	-	16	16
持分法適用会社数	3	-	3	3

## (2) 3行合算【単体】

(単位:百万円)

(単位:百万円)

	平成30年3月期		平成29年3月期 第3四半期 (9カ月)	平成29年3月期 (参考) (年間)
	第3四半期 (9カ月)	前年同期比		
経常収益	106,819	△ 5,049	111,868	145,815
業務粗利益	78,006	△ 1,221	79,227	102,959
資金利益	70,050	1,581	68,469	89,177
役務取引等利益	9,474	721	8,753	11,841
特定取引利益	23	△ 20	43	42
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	△ 1,541 ( 2,668)	△ 3,502 (△ 3,213)	1,961 ( 5,881)	1,898 ( 7,626)
経費(除く臨時処理分)(△)	43,509	△ 8,941	52,450	68,082
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	34,497	7,720	26,777	34,876
コア業務純益	31,829	10,934	20,895	27,250
一般貸倒引当金繰入額(△) ①	△ 785	1,482	△ 2,267	△ 3,451
業務純益	35,282	6,238	29,044	38,327
臨時損益	4,930	△ 3,176	8,106	7,686
うち株式等関係損益	7,506	△ 2,320	9,826	10,756
うち不良債権処理額(△) ②	237	631	△ 394	1,573
うち貸倒引当金戻入益 ③	-	-	-	-
うち償却債権取立益 ④	16	△ 30	46	53
経常利益	40,198	3,067	37,131	45,989
特別損益	369	483	△ 114	△ 477
税引前四半期(当期)純利益	40,567	3,551	37,016	45,511
法人税等合計(△)	11,060	△ 1	11,061	13,734
四半期(当期)純利益	29,507	3,552	25,955	31,777

与信関係費用(①+②-③-④)(△)	△ 564	2,145	△ 2,709	△ 1,931
--------------------	-------	-------	---------	---------

- (注) 1. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。  
2. 業務純益(一般貸倒引当金繰入前) = 業務粗利益 - 経費(除く臨時処理分)  
3. コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益  
4. 一般貸倒引当金及び個別貸倒引当金を合算して、取崩超過となっている場合は、3行合算上はそれぞれの勘定に戻した上で合計しております。  
5. 法人税等合計 = 法人税、住民税及び事業税 + 法人税等調整額

## (3) 単体

## ①山口銀行

- ・ 経常収益は、株式等売却益及び資金運用収益等の増加により、前年同期比31億70百万円増加して628億76百万円となりました。
- ・ 経常利益は、株式等関係損益や資金利益等が増加したことにより、前年同期比61億59百万円増加して267億50百万円となり、四半期純利益は、前年同期比53億9百万円増加して196億21百万円となりました。
- ・ コア業務純益は、資金利益等の増加により、前年同期比51億29百万円増加して187億24百万円となりました。

	平成30年3月期 第3四半期 (9カ月)		平成29年3月期 第3四半期 (9カ月)		平成29年3月期 (参考) (年間)
		前年同期比			
経常収益	62,876	3,170	59,706		79,164
業務粗利益	42,739	△ 1,863	44,602		58,613
資金利益	37,787	1,723	36,064		47,082
役務取引等利益	5,993	656	5,337		7,288
特定取引利益	23	△ 20	43		42
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	△ 1,065 ( 2,718)	△ 4,222 (△ 3,433)	3,157 ( 6,151)		4,199 ( 8,598)
経費(除く臨時処理分)(△)	21,296	△ 3,560	24,856		32,783
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	21,442	1,696	19,746		25,829
コア業務純益	18,724	5,129	13,595		17,230
一般貸倒引当金繰入額(△) ①	-	-	-		△ 438
業務純益	21,442	1,696	19,746		26,267
臨時損益	5,320	4,459	861		689
うち株式等関係損益	6,927	4,471	2,456		3,317
うち不良債権処理額(△) ②	52	△ 19	71		589
うち貸倒引当金戻入益 ③	81	△ 456	537		-
うち償却債権取立益 ④	14	△ 30	44		45
経常利益	26,750	6,159	20,591		26,936
特別損益	381	402	△ 21		△ 135
税引前四半期(当期)純利益	27,131	6,561	20,570		26,800
法人税等合計(△)	7,509	1,252	6,257		8,203
四半期(当期)純利益	19,621	5,309	14,312		18,597
与信関係費用(①+②-③-④)(△)	△ 43	467	△ 510		105

(注) 1. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 業務純益(一般貸倒引当金繰入前) = 業務粗利益 - 経費(除く臨時処理分)

3. コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益

4. 法人税等合計 = 法人税、住民税及び事業税 + 法人税等調整額

## ②もみじ銀行

- ・経常収益は、株式等売却益及び国債等債券売却益の減少により、前年同期比97億15百万円減少して340億35百万円となりました。
- ・経常利益は、株式等関係損益の減少を主因として、前年同期比31億65百万円減少して104億74百万円となり、四半期純利益は、前年同期比19億39百万円減少して77億5百万円となりました。
- ・コア業務純益は、国債等債券損益を除いたその他業務利益等の増加等により、前年同期比46億25百万円増加して104億19百万円となりました。

	平成30年3月期		平成29年3月期	
	第3四半期 (9カ月)	前年同期比	第3四半期 (9カ月)	平成29年3月期 (参考) (年間)
経常収益	34,035	△ 9,715	43,750	54,626
業務粗利益	26,399	332	26,067	33,060
資金利益	24,119	△ 346	24,465	31,521
役務取引等利益	2,877	△ 12	2,889	3,828
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	△ 596 (△ 51)	692 (218)	△ 1,288 (△ 269)	△ 2,289 (△ 972)
経費(除く臨時処理分)(△)	16,031	△ 4,511	20,542	26,182
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	10,367	4,843	5,524	6,878
コア業務純益	10,419	4,625	5,794	7,850
一般貸倒引当金繰入額(△) ①	-	-	-	-
業務純益	10,367	4,843	5,524	6,878
臨時損益	107	△ 8,010	8,117	8,891
うち株式等関係損益	575	△ 6,693	7,268	7,338
うち不良債権処理額(△) ②	119	23	96	118
うち貸倒引当金戻入益 ③	457	△ 634	1,091	1,282
うち償却債権取立益 ④	2	△ 0	2	8
経常利益	10,474	△ 3,165	13,639	15,766
特別損益	△ 6	79	△ 85	△ 277
税引前四半期(当期)純利益	10,467	△ 3,087	13,554	15,488
法人税等合計(△)	2,761	△ 1,148	3,909	4,529
四半期(当期)純利益	7,705	△ 1,939	9,644	10,959
与信関係費用(①+②-③-④)(△)	△ 340	658	△ 998	△ 1,171

- (注) 1. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。  
 2. 業務純益(一般貸倒引当金繰入前) = 業務粗利益 - 経費(除く臨時処理分)  
 3. コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益  
 4. 法人税等合計 = 法人税、住民税及び事業税 + 法人税等調整額

## ③北九州銀行

- ・経常収益は、資金運用収益が増加したものの貸倒引当金戻入益の減少を主因として、前年同期比6億9百万円減少して106億37百万円となりました。
- ・経常利益は、貸倒引当金戻入益が減少したものの、資金利益の増加等により、前年同期比74百万円増加して29億74百万円となり、四半期純利益は、前年同期比1億81百万円増加して21億79百万円となりました。
- ・コア業務純益は、資金利益等の増加により、前年同期比11億80百万円増加して26億85百万円となりました。

	(単位:百万円)		(単位:百万円)	
	平成30年3月期 第3四半期 (9カ月)	前年同期比	平成29年3月期 第3四半期 (9カ月)	平成29年3月期 (参考) (年間)
経常収益	10,637	△ 609	11,246	14,185
業務粗利益	8,867	310	8,557	11,285
資金利益	8,142	204	7,938	10,572
役務取引等利益	603	77	526	725
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	120 (0)	28 (0)	92 (-)	△ 12 (-)
経費(除く臨時処理分)(△)	6,180	△ 871	7,051	9,116
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	2,686	1,181	1,505	2,168
コア業務純益	2,685	1,180	1,505	2,168
一般貸倒引当金繰入額(△) ①	-	-	-	-
業務純益	2,686	1,181	1,505	2,168
臨時損益	287	△ 1,108	1,395	1,118
うち株式等関係損益	3	△ 98	101	101
うち不良債権処理額(△) ②	9	3	6	13
うち貸倒引当金戻入益 ③	189	△ 1,017	1,206	878
うち償却債権取立益 ④	-	-	-	-
経常利益	2,974	74	2,900	3,287
特別損益	△ 5	3	△ 8	△ 65
税引前四半期(当期)純利益	2,968	76	2,892	3,221
法人税等合計(△)	789	△ 105	894	1,001
四半期(当期)純利益	2,179	181	1,998	2,220
与信関係費用(①+②-③-④)(△)	△ 180	1,020	△ 1,200	△ 865

(注) 1. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 業務純益(一般貸倒引当金繰入前) = 業務粗利益 - 経費(除く臨時処理分)

3. コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益

4. 法人税等合計 = 法人税、住民税及び事業税 + 法人税等調整額

## 2. 金融再生法ベースのカテゴリーによる開示【単体】

- 山口銀行の不良債権額は前年同期末比37億円減少し、不良債権比率は前年同期末比0.16ポイント低下しました。
- もみじ銀行の不良債権額は前年同期末比46億円減少し、不良債権比率は前年同期末比0.28ポイント低下しました。
- 北九州銀行の不良債権額は前年同期末比14億円減少し、不良債権比率は前年同期末比0.23ポイント低下しました。

		(単位:億円、%)		【参考】(単位:億円、%)
		平成29年12月末	平成28年12月末	平成29年9月末
3行合算	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	334	440	330
	危険債権	438	467	436
	要管理債権	128	90	129
	合 計	901	997	896
	総与信に占める開示額の割合	1.26	1.47	1.27
山口銀行	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	137	164	136
	危険債権	213	232	213
	要管理債権	75	66	78
	合 計	426	463	428
	総与信に占める開示額の割合	1.12	1.28	1.14
もみじ銀行	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	142	196	139
	危険債権	157	164	160
	要管理債権	29	14	27
	合 計	330	376	328
	総与信に占める開示額の割合	1.49	1.77	1.50
北九州銀行	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	54	79	54
	危険債権	66	70	62
	要管理債権	23	8	22
	合 計	144	158	140
	総与信に占める開示額の割合	1.29	1.52	1.28

(注)1. 上記の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリー(以下、「開示区分」という。)により分類しております。

平成28年12月末・平成29年12月末の各開示区分の金額は、9月末から12月末までに倒産・不渡り・延滞等の客観的事実並びに信用格付の変動等を反映させた12月末時点における各残高を記載しております。

## 2. 債務者区分との関係

破産更生債権及びこれらに準ずる債権 … 破綻先、実質破綻先の債権

危険債権 … 破綻懸念先の債権

要管理債権 … 要注意先のうち、元本もしくは利息の支払いが3ヵ月以上延滞しているか、又は貸出条件を緩和している債権



## 3. 時価のある有価証券の評価差額【単体】

・3行合算の「その他有価証券」の評価差額は、前年同期末比240億円増加し、1,059億円の評価益となりました。

		(単位:億円)				【参考】 (単位:億円)	
		平成29年12月末		平成28年12月末		平成29年9月末	
		時価	評価差額	時価	評価差額	時価	評価差額
3行合算	その他有価証券	17,205	1,059	20,873	819	17,942	917
	株式	1,645	1,068	1,366	775	1,506	917
	債券	12,358	82	16,280	150	13,548	79
	その他	3,200	△91	3,226	△106	2,888	△79
山口銀行	その他有価証券	10,793	755	13,002	661	11,149	689
	株式	1,143	744	1,017	598	1,078	669
	債券	7,574	61	10,257	122	8,230	61
	その他	2,075	△50	1,728	△59	1,840	△41
もみじ銀行	その他有価証券	5,987	25	7,590	14	6,441	22
	株式	133	49	124	38	131	46
	債券	4,729	16	5,967	22	5,262	13
	その他	1,125	△40	1,497	△47	1,047	△38
北九州銀行	その他有価証券	423	277	280	143	351	205
	株式	368	273	224	138	296	201
	債券	55	4	55	4	55	4
	その他	-	-	-	-	-	-

(注)1. 「評価差額」は、帳簿価額(償却原価法適用後、減損処理後)と時価との差額を計上しております。  
2. 満期保有目的の債券に係る「含み損益」は以下のとおりであります。

		(単位:億円)				【参考】 (単位:億円)	
		平成29年12月末		平成28年12月末		平成29年9月末	
		帳簿価額	含み損益	帳簿価額	含み損益	帳簿価額	含み損益
3行合算	満期保有目的の債券	73	1	55	1	68	1
山口銀行	満期保有目的の債券	9	0	3	0	10	0
もみじ銀行	満期保有目的の債券	-	-	-	-	-	-
北九州銀行	満期保有目的の債券	64	1	52	1	57	1

## 4. 預金・貸出金等の状況

## (1) 預金・譲渡性預金の残高【単体】

- ・3行合算の預金・譲渡性預金の残高は、譲渡性預金等が減少し、前年同期末比352億円減少して9兆1,793億円となりました。
- ・山口銀行は、前年同期末比1,800億円減少して5兆1,921億円となりました。
- ・もみじ銀行は、前年同期末比1,020億円増加して2兆9,682億円となりました。
- ・北九州銀行は、前年同期末比427億円増加して1兆188億円となりました。

		(単位:億円)		【参考】 (単位:億円)
		平成29年12月末	平成28年12月末	平成29年9月末
3行合算	預金・譲渡性預金	91,793	92,145	93,867
	預金	86,123	85,440	86,645
	譲渡性預金	5,669	6,705	7,221
山口銀行	預金・譲渡性預金	51,921	53,721	53,190
	預金	48,390	48,774	48,615
	譲渡性預金	3,531	4,946	4,575
もみじ銀行	預金・譲渡性預金	29,682	28,662	29,655
	預金	28,783	27,824	28,516
	譲渡性預金	899	838	1,139
北九州銀行	預金・譲渡性預金	10,188	9,761	11,021
	預金	8,949	8,840	9,514
	譲渡性預金	1,239	920	1,506

## (2) 個人預り資産の残高【単体】

- ・3行合算の個人預り資産残高は、前年同期末比645億円増加して、8,523億円となりました。

		(単位:億円)		【参考】 (単位:億円)
		平成29年12月末	平成28年12月末	平成29年9月末
3行合算	公共債	106	146	113
	保険	7,703	7,133	7,570
	投資信託	713	597	707
	合計	8,523	7,878	8,391
山口銀行	公共債	44	62	46
	保険	3,420	3,112	3,347
	投資信託	365	310	344
	合計	3,829	3,484	3,738
もみじ銀行	公共債	44	59	45
	保険	3,959	3,720	3,904
	投資信託	300	252	311
	合計	4,304	4,032	4,261
北九州銀行	公共債	18	25	21
	保険	323	300	318
	投資信託	47	35	51
	合計	388	361	391

(注) 投資信託は時価ベース、公共債は額面ベース、保険(平準払保険を含まない年金保険・終身保険等)は販売額の累計ベースです。

		(単位:億円)		【参考】 (単位:億円)
		平成29年12月末	平成28年12月末	平成29年9月末
ワイエム証券	債券	683	862	795
	株式	576	558	554
	投資信託	1,157	1,059	1,102
	その他	292	193	192
	合計	2,710	2,672	2,644

(注) ワイエム証券は時価ベースで、その他にはMRF等を含んでおります。

## (3) 貸出金の残高【単体】

- 3行合算の貸出金残高は、前年同期末比3,652億円増加して7兆778億円となりました。
- 山口銀行は、法人向け貸出を中心に前年同期末比1,961億円増加して3兆7,776億円となりました。
- もみじ銀行は、法人向け貸出を中心に前年同期末比913億円増加して2兆1,941億円となりました。
- 北九州銀行は、個人向け及び法人向け貸出を中心に前年同期末比778億円増加して1兆1,060億円となりました。

		(単位:億円)		【参考】 (単位:億円)
		平成29年12月末	平成28年12月末	平成29年9月末
3行合算	貸出金	70,778	67,126	69,505
	うち個人ローン	13,535	12,853	13,355
	うち住宅ローン	12,209	11,508	12,017
	うちその他ローン	1,326	1,344	1,337
	中小企業等貸出金 (A)	41,612	38,979	40,636
	貸出金残高(国内) (B)	70,470	66,817	69,217
	中小企業等貸出金比率 (A) / (B)	59.04%	58.33%	58.70%
山口銀行	貸出金	37,776	35,815	37,087
	うち個人ローン	6,246	5,902	6,171
	うち住宅ローン	5,573	5,235	5,493
	うちその他ローン	673	667	677
	中小企業等貸出金 (C)	18,218	17,172	17,774
	貸出金残高(国内) (D)	37,468	35,505	36,799
	中小企業等貸出金比率 (C) / (D)	48.62%	48.36%	48.30%
もみじ銀行	貸出金	21,941	21,028	21,668
	うち個人ローン	5,219	5,118	5,186
	うち住宅ローン	4,897	4,788	4,860
	うちその他ローン	321	329	325
	中小企業等貸出金 (E)	15,060	14,099	14,729
	貸出金残高(国内) (F)	21,941	21,028	21,668
	中小企業等貸出金比率 (E) / (F)	68.63%	67.05%	67.97%
北九州銀行	貸出金	11,060	10,282	10,749
	うち個人ローン	2,069	1,832	1,997
	うち住宅ローン	1,738	1,484	1,663
	うちその他ローン	331	347	334
	中小企業等貸出金 (G)	8,333	7,707	8,133
	貸出金残高(国内) (H)	11,060	10,282	10,749
	中小企業等貸出金比率 (G) / (H)	75.34%	74.95%	75.66%

(注)「中小企業等貸出金」及び「貸出金残高(国内)」には、海外店分及び特別国際金融取引勘定分は含まれておりません。

## 5. 自己資本比率

平成29年12月末時点の自己資本比率(当社及び山口銀行:国際統一基準、もみじ銀行及び北九州銀行:国内基準)につきましては、現在算定中であり、確定次第開示いたします。